

■「境港市男女共同参画推進条例」の制定

男女共同参画社会の実現に向けて、基本理念を定め、市や市民、事業者などの責務を明記し、男女共同参画推進のための基本的な施策等を定めました。

■「境港市公民館条例」および「境港市民図書館設置条例」の一部改正

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」いわゆる地域主権改革一括法の制定に伴う法改正により、それぞれ公民館運営審議会委員を委嘱および図書館協議会委員を任命する際の基準を定めました。

■「境港市国民健康保険条例」の一部改正

国民健康保険費特別会計の安定運営を図るため、国民健康保険税の税率を平均10・2%引き上げました。

■「境港市特別医療費助成条例」の一部改正

平成22年の税制改正に伴う年少扶養控除等の廃止により、所得税が課されることとなった「ひとり親家庭」を、引き続き特別医療費の助成対象としまし

た。

■「境港市介護保険条例」の一部改正

平成24年度から平成26年度までの介護保険料について、給付費の増加などを見込み、この期間の保険料率を定めました。

■「境港市児童デイサービス事業に係る利用者負担金の徴収に関する条例」の一部改正

保育所等に通う障がい児に対して、集団生活への適応に向けた専門的な支援を行うため、「児童福祉法」において創設された「保育所等訪問支援」を実施することから、利用者負担金の徴収について定めました。

■「境港市消防団条例」の一部改正

消防団員の報酬および費用弁償額を引き上げました。

■「境港市防災会議条例」の一部改正

現在、行政機関や関係機関の委員のみで構成されている防災会議に、より広い範囲から委員を任命できるよう改めました。

■「境港市廃棄物の処理及び再利用に関する条例」の一部改正

資源ごみおよび指定袋に収納

等をした可燃性の家庭ごみ以外のごみを処理施設に搬入した場合の手数料を、10キログラム刻みで徴収する料金体系に変更しました。

■「境港市道路整備等基金条例」の制定

防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、道路整備および道路維持事業を計画的に執行するため、基金を設置しました。

■「境港市営住宅条例」の一部改正

上道団地にある中堅所得者向けの特定公共賃貸住宅のうち、空き家となっている8室を用途変更し、公営住宅に準じた取り扱いができるよう改めました。

■「公有地の拡大の推進に関する法律施行令第三条第三項ただし書の規模を定める条例」の制定

地域主権改革一括法に関連する政令改正に伴う権限移譲により、道路等の計画区域内にある土地を譲渡する場合、市への届出が必要となる土地の面積を定めました。

■「境港市公共下水道事業受益者負担に関する条例」の一部改

正

正

受益者負担金の負担区として、新たに「第6負担区」を定め、その負担金額を、1平方メートルあたり420円としました。

■職員の研修に関する事務の一部を鳥取県に委託するにあたり、その規約を定めました。

■境港港湾区域内の公有水面の埋立地の用途変更について、境港管理組合管理者から意見を求められたため、本市としてこれに異存がない旨回答しました。

■人権擁護委員に池淵美津子さんを推薦しました。

■監査委員に荒井秀行さんを選任しました。

議員提出議案

- ◇境港市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について
- ◇地域医療と国立病院の充実を求める意見書の提出について
- ◇「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書の提出について
- ◇障害者総合福祉法（仮称）の制定を求める意見書の提出について



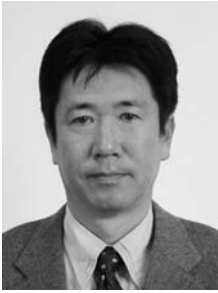
陳情の審議結果

- 採択
 - ◇国民健康と国立病院の充実強化に関する陳情
 - ◇「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書提出に関する陳情
 - ◇障害者総合福祉法（仮称）の制定を求める陳情
 - 趣旨採択
 - ◇住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情
 - ◇公的年金の改悪に反対する意見書を求める陳情
 - 不採択
 - ◇介護保険料引き上げ中止を求める陳情
 - ◇国民健康保険税引き上げ中止を求める陳情
 - ◇「社会保障と税の一体改革成案」に反対する陳情



市議会副議長および各委員会構成が決まりました

副議長



浜田一哉さん
(外江町)

◆本会議の初日に副議長選挙が行われ、浜田一哉さん(外江町)が選ばれました。

常任・特別委員会名簿

委員会名		構成人数	◎委員長 ○副委員長	委員
常任	総務文教委員会	8	◎佐名木知信 ○平松謙治	岡空研二 浜田一哉 荒井秀行 田口俊介 定岡敏行 松本 熙
	経済厚生委員会	8	◎柗 康弘 ○松尾好行	米村一三 景山 憲 永井 章 南條可代子 松下 克 竹安 徹
議会運営委員会		8	◎景山 憲 ○定岡敏行	米村一三 平松謙治 永井 章 佐名木知信 南條可代子 松本 熙
特別	基地・空港港湾問題調査特別委員会	8	◎南條可代子 ○岡空研二	米村一三 浜田一哉 荒井秀行 佐名木知信 定岡敏行 竹安 徹
	中海問題調査特別委員会	8	◎永井 章 ○田口俊介	平松謙治 柗 康弘 景山 憲 松尾好行 松下 克 松本 熙
災害対策調査特別委員会		8	◎米村一三 ○竹安 徹	浜田一哉 柗 康弘 佐名木知信 田口俊介 定岡敏行 松本 熙

感謝状贈呈 「声の市報製作」で貢献

朗読ボランティアグループ・コスモス

活動30年のボランティア団体

コスモスは、昭和57年から活動している朗読ボランティアグループです。毎月発行される「市報さかいみなと」を朗読してテープに録音。目の不自由な人へ「声の市報」を届けています。

コスモスは、境港市のボランティア



コスモスの皆さん(3月5日なぎさ会館にて)

テープ使用も利用者からのニーズに合わせた配慮です。

表紙に描かれた写真や、イラストの細部まで表現するため、会員同士で相談し合いながら、あらゆる言葉を使って録音作業が行われます。「思いやりの心まで伝えること」がコスモスの信条であることが伝わります。

コスモス代表の角紀子さんにお話を伺うと、「雨が降っても、風が吹いても、太陽が照り付けても、利用者に早く声の市報を届けることを第一に考えた」と話されました。

思いやりの心

市報が発行されると、一日でも早く利用者に「声の市報」を届けるため、活動場所のなぎさ会館では、夜遅くまで録音作業が行われます。

20数ページにも及ぶ市報を朗読するため、会員でページを分担し、担当ごとに紙面を読み込んで録音に備え、順番に録音が行われます。

「3月号市報さかいみなと…」録音が始まると、冒頭に時候のあいさつが吹き込まれます。これは利用者とのコミュニケーションを大切にしたいやりが込められています。

さまざまな録音機器が開発された今でも、テープレコーダーによる製作が続けられました。

長年の功績を称えて、市から感謝状を贈呈

「地図以外はすべて読んだ」と話されるとおり、ただ文章を読み上げるだけでなく、常に「いかにわかりやすく伝えるか」という質の向上を目指す意識の高さを感じました。

市からコスモスへ、長年にわたる声の市報製作の功績を称えて、3月22日、市長室で中村市長からコスモス会員の皆さんへ感謝状が贈呈されました。

コスモスの皆さん、長い間本当にありがとうございました。